

目 次

□巻頭言 年頭所感.....加藤 三重次/1

□エネルギー問題特集

建設事業とエネルギー.....大町 利勝/3

エネルギー問題を考える.....大滝 克彦/10

石油代替エネルギーの開発と将来.....中村 進/16

新エネルギー技術開発と土木技術の展望—立地技術を中心として.....林 正夫/21

建設工事における省エネルギー、省資源について考える.....中野 俊次/30

1. 建設機械における対応

1-1 建設機械用エンジン.....寺山 琢男/32

1-2 油圧機器と油圧システム.....和泉 鋭機/33

1-3 電気ショベル.....狭間 博芳/35

1-4 クライミングクレーン.....松本 重人/37

2. 建設工事における対応

2-1 土 工.....和田 航一/40

2-2 トンネル.....横田 高良/42

2-3 橋 梁.....長谷川 脩一/44

2-4 基礎工事.....芳賀 孝成/45

2-5 港 湾.....佐藤 英輔/47

2-6 建 築.....三浦 満雄/48

2-7 舗装工事.....吉岡 聡/50

□随想 パイプと共に10年.....伊丹 康夫/52

建設機械展示会(名古屋)見聞記.....畑野 仁/54

グラビヤ—昭和55年度建設機械展示会(名古屋)

建設機械と施工法シンポジウム見聞記.....駒田 尚一/57

□新機種ニュース.....調査部会/60

□文献調査

文献目録紹介.....文献調査委員会/65

□整備技術

アメリカにおける潤滑管理の実情.....整備技術部会/69

□統計

建設工事費デフレータほか建設関連統計.....調査部会/72

理事会の開催...../73

行事一覧...../74

編集後記.....(森・岡崎・鈴木)/76

◀表紙写真説明▶

TCM R 400 型ロータリ除雪車  
東洋運搬機株式会社

本機は日本の国土面積の60%、人口の25%を占める積雪寒冷地域における冬期の足を確保するため道路の状態、雪質の変化などによる広範囲な作業条件に適応した大型ロータリ除雪車であり、次のような特徴を有する。

- ① ワンエンジン方式410 PSのエンジンを搭載し、3,000 t/hrの雪処理能力を有する。
- ② パワーシフトトランスミッションと油圧駆動の採用で除雪作業に適した速度が得られる。
- ③ 左右のチルト、前後のピッチ機構を採用し、路面に応じた整正作業が可能である。
- ④ アーティキュレート式の採用で狭い道路の通行が容易で、雪路の走破性もよい。
- ⑤ サスペンションシートの採用により乗心地がよい。また助手席からの操作も可能である。

◀主な仕様▶

最大除雪量.....	3,000 t/hr
投雪距離.....	3段 (13 m, 25 m, 35 m)
走行速度.....	8段, 40 km/hr
定格出力.....	410 PS/2,000 rpm
除雪装置.....	チルト左右各 3° ピッチ前後各 3°
ブレーキ形式.....	全油圧ディスク
タイヤ.....	17.5-25-16 PR